

Ⅲ. 事業計画

(2022-2023年度)



イマジン
ロータリー

会員増強委員会



委員長(理事) 古本 由美

本年度の会長方針「共に語り、共に進もう」「会員同士、お互いを知り、語り合い親交を深める場面を作り、それにより時代に即した変化と共に、積極的に色々な活動が活発化していければよいと思う」に基づいて、

より多くの仲間を募り、入会していただいて、強く温かな絆に結ばれた東南ロータリークラブの輪を広げていけるよう、皆で頑張っていこうと思います。会員の皆様、何卒ご協力よろしくお願いいたします。



● 会員増強・職業分類担当



リーダー
大下 達士



副リーダー
林 亮介

【リーダー】	大下 達士
【副リーダー】	林 亮介
【委員】	吉岡 民登 温泉川梅代
	田上 克彦 岩垂 鈴香
	林 大一郎 江後 潤一

〈方 針〉

年度末までにクラブ会員総数100名を目標として会員増強を行う。

〈計 画〉

- ・ 会長方針である「共に語り、共に進もう」を多くの会員と共有する為、年度末のクラブ会員総数100名を目標とします。
- ・ ロータリー賞達成項目、会員数51名以上のクラブは純増2名を達成します。
- ・ 女性会員や若い会員の入会を促進すると共に退会防止の為、歓迎され尊重され、重んじられると感じられる環境作りに努めます。
- ・ 委員の皆様と情報共有し、未入会の職業分類への会員増強を強化します。

〈予 算〉 300,000円

● ロータリー情報担当



リーダー
胡 定晃



副リーダー
森原 弘昌

【リーダー】 胡 定晃
【副リーダー】 森原 弘昌

〈方 針〉

1. 新会員、新会員候補に対してロータリーを理解して頂くように情報を提供する。入会3年未満の会員向けに歴史などの情報を提供できる企画を行う。

〈計 画〉

1. 新会員、新会員候補にロータリーを理解していただくように入会説明を例会前に行う。
2. 3年未満の会員に対しては各種会合に積極的に参加してもらうように情報を提供する。
3. 他の委員会と連携し入会の浅い会員向けに東南ロータリークラブの歴史など情報を提供する機会を企画する。

〈予 算〉 100,000円

クラブ管理運営委員会



委員長(理事) 佐々木 誠

コロナが、新たな変異を見せており、終息の気配を感じさせない状況ではありますが、その合間を縫うような形で色々な活動が再開されております。

ジェニファー・ジョーンズRI会長の「IMAGINE ROTARY」による原点回帰。

そして、佐野会長方針である「共に語り、共に進もう」に沿って、コロナ対策をしつつ、皆で意見を言い合えるような設営をしていきたいと思っておりますので、積極的なご参加よろしくお願い致します。



● 出席担当



リーダー
國司 晃



副リーダー
岡本 幸士

【リーダー】	國司	晃
【副リーダー】	岡本	幸士
【委員】	荒木 浩幸	久行 康夫
	濱本 聖次	三宅 正光

〈方 針〉

今年度のクラブ活動方針「共に語り、共に進もう」を受け、全会員が参加しやすい環境づくりに努め、連続出席100%の継続を目指します。

〈計 画〉

1. 他の委員会と連携を図り、出席しやすい環境をつくる。
2. 例会時に出席報告をし、例会出席への関心を図る。
3. クラブ会報に出席報告を記載する。
4. 連続出席者を報告し、記念品の贈呈を行いその労を讃える。
5. ホームクラブに出席できない時は、他クラブへのメイクアップの参加を勧める。

〈予 算〉 450,000円(連続出席者への記念品費用)

● プログラム担当



リーダー
薦尾健太郎



副リーダー
武士末 修

【リーダー】	薦尾健太郎
【副リーダー】	武士末 修
【委 員】	平川 勝洋 尾木 朗
	飯沼 潔人

〈方 針〉

「共に語り、共に進もう」という佐野会長の会長方針を踏まえ、会員相互の親睦、交友をより深められる場となるよう、卓話プログラムの充実に努める。

プログラムの内容としては、健康を今年度の主要テーマと位置づけ、その中で、運動、食、医療という分野を重点的に卓話として取り上げたいと考えている。

〈計 画〉

1. 入会后、できるだけ速やかに新入会員に卓話をお願いする。

新入会員にとっては、卓話を行うことで、会員との親睦・交友をより一層深められるような機会となるよう、卓話の内容もひと工夫してもらえよう願う。

2. ロータリー月間のテーマを意識したプログラム内容となるよう、これを踏まえた卓話ゲストをお願いする。
3. 健康をテーマに、運動、食べ物、医療といった分野、特に心身における健康寿命（を延ばすこと）に資するような卓話をして頂けるゲストを選定する。
4. コロナの情勢も踏まえると、外部の講師をお願いすることが難しい状況も想定される。会員に積極的に卓話をお願いし、携わっている業界の話、専門分野の話などを披露して頂き、会員同士の親睦を深める機会を作る。

〈予 算〉 400,000円

● 親睦担当



リーダー
尾立 道泰



副リーダー
早田 良二

【リーダー】 尾立 道泰

【副リーダー】 早田 良二

【委 員】

長崎 清正	大濱 紘三	廣谷 洲枝
吉村 康宏	狩野 義仁	東影 正博
檜垣 純一	板本 敏行	横川 真也
塩崎 滋弘	飯沼 潔人	平町 隆典
石田 裕滋	田中 貴	佐柳 和憲
林 大一郎	江後 潤一	濱本 聖次
三宅 正光		

〈方 針〉

今年度、佐野会長の方針「共に語り、共に進もう」を具体化するために、会員相互の結束とコミュニケーションが必要です。

親睦事業において会員相互の連携と信頼の輪を広げ、コロナ禍で2年間出来なかった「対面」を重視して参ります。

〈計 画〉

1. 例会受付

ビジター歓迎

出席カード捺印

ビジター紹介

2. 親睦行事

夏の新会員歓迎会（夜間例会：2022年9月26日 予定）

3RC 合同例会・懇親会（懇親会：2022年10月28日 ANA）

秋の支店長会員を囲む会（松茸祭：2022年10月 未定）

クリスマス家族例会（夜間例会：2022年12月 未定）

冬の新会員歓迎会（夜間例会：2023年1月 未定）

冬の支店長会員を囲む会（河豚祭：2023年2月 未定）

会員親睦会（カープ観戦：2023年4月～5月 未定）

最終例会（夜間例会：2023年6月26日）

3. 誕生日記念品贈呈

4. 各委員会活動への参加

5. 同好会への協力

6. クラブ内慶弔への支援

7. 新会員のロータリー情報夜間実施に伴う歓迎会開催

（会員増強×ロータリー情報×親睦のコラボ企画）

〈予 算〉 4,500,000 円

広報・記録委員会



委員長(理事) 久保 和浩

佐野会長の「共に語り、共に進もう」を方針のもと、当委員会はクラブ内の様々な活動に関しての「広報・記録」を担っていくにあたり、イメージネーションを働かせながら当クラブの活動・事業等を、会員の皆様に適切な情報として広報・記録するよう努めてまいります。

皆様の協力をよろしくお願いします。



● クラブ会報・資料保存担当



リーダー
角田由貴子



副リーダー
吉田 範子

【リーダー】 角田由貴子

【副リーダー】 吉田 範子

【委 員】

吉田 信秀 脇舩 賢治 富部 秀司

久保河内豊 塩崎 滋弘

〈方 針〉

1. クラブ会報(週報)を作成し、例会を通じて前回／当日の行事内容・各種行事の予定を分かりやすく周知する。
2. 当クラブの仕事内容や諸活動についてクラブ会報等を通じて会員に周知し、クラブの活動についての関心を高めてもらい、会員相互の親睦増進、ロータリー教育の向上、クラブの活性化を図る。
3. 当クラブの事業内容を記録し、クラブ会報及び関連資料データ等を整理し、保存・管理する。

〈計 画〉

- ・ クラブ会報に、RI会長テーマ「IMAGINE ROTARY」及び、当クラブ佐野会長の方針である「共に語り、共に進もう」を踏まえ、深く考えながらそれらを反映させた紙面作りをする。
- ・ 例会、及び各種行事での記念写真や記録写真を確実に撮影する。
- ・ 「卓話」を担当される方へ事前に原稿を依頼し「卓話」の内容周知に努める。
- ・ 当クラブのホームページを通じて資料公開に取り組む。
- ・ クラブ会報の内容を事前に確認し、校正する。

〈予 算〉 400,000円

● 雑誌担当



リーダー
今井 廣志



副リーダー
村上 賢一

【リーダー】 今井 廣志

【副リーダー】 村上 賢一

【委 員】

吉田 信秀 脇舩 賢治 富部 秀司

久保河内豊 塩崎 滋弘

〈方 針〉

会長方針【共に語り、共に進もう】

雑誌担当におきましては「ロータリーの友」を会員皆様方に購読していただき、国内・国外のロータリー活動状況を知っていただき、また活動報告・随筆等に触れながら全会員でロータリー活動の意義を考える機会をつくる。

また、広島東南ロータリークラブの活動状況をロータリーの友を通じて情報発信をする。

〈計 画〉

- ・ 2022年7月号より2023年6月号まで毎月発刊される「ロータリーの友」を毎月第一例会時に配布（コロナ禍等で休会時は郵送）し、毎月会員様よりご指名をさせていただき、指名された会員は興味を持たれた記事の紹介及び感想を取りまとめていただき、事務局へ提出する。
- ・ 提出された記事は、週報に記載いたします。
- ・ ロータリーの友を各種団体等へ寄贈し、ロータリークラブへの関心と理解を深めていただく。
- ・ 広島東南ロータリークラブの活動内容を「ロータリーの友」へ掲載いただけるよう目指します。

〈予 算〉 50,000 円

● 広報担当



リーダー
見正 伸也



副リーダー
赤川 浩二

【リーダー】 見正 伸也

【副リーダー】 赤川 浩二

【委 員】

吉田 信秀 脇舩 賢治 富部 秀司

久保河内豊 塩崎 滋弘

〈方 針〉

佐野会長方針は「共に語り、共に進もう」とあります。

東南ロータリークラブ会員同士、お互いを知り、積極的に色々な活動をしている素晴らしさを広く発信してまいります。多くの人にRCの活動内容に理解・興味をしていただく事で、新会員の入会の促進にも繋げてまいります。

〈計 画〉

1. 当クラブホームページの最大活用（会員による情報発信や記事の投稿のお願い）
2. 当クラブのSNS（Facebook等）の活用、促進
3. 県ならびに市の記者クラブへのプレスリリースの積極的な働きかけ

〈予 算〉 400,000円

奉仕プロジェクト委員会



委員長（理事） 山仲 巖

本年度も新型コロナウイルス対応により事業計画を立てにくい中奉仕プロジェクト委員会の各リーダーが佐野会長提唱“共に語り、共に進もう”のスローガンを念頭に事業計画を策定いたしました。今年度はアフターコロナ、ウィズコロナで、これまで実施できていなかった当委員会の事業を再始動し活動をしていきたいと考えております。

委員会メンバーみんなで共に奉仕プロジェクト活動に取り組んでいく所存です。

当委員会の奉仕事業の各事業を成し遂げるには委員会メンバーだけでなく、広島東南ロータリークラブメンバー皆様のご協力が不可欠であります。皆々様の、当委員会事業活動へのご参画とご協力を切にお願い致します。



● 職業奉仕・経営研究担当



リーダー
中脇 令子



副リーダー
高橋 心里

【リーダー】 中脇 令子

【副リーダー】 高橋 心里

【委 員】

山下 泉 神辺 眞之 尾木 朗

吉村 康宏 平町 隆典

〈方 針〉

一昨年からコロナ禍で例年通りの例会活動などとても困難な状況が続いております。コロナ終息後には新しい経済状況や活動方法になるように思いますが…

今年度会長方針『共に語り、共に進もう』に基づいて今まで以上に皆と語り、皆で知恵を出し合い、共に進んでいきたいと思っております。WEBを活用するなど新たなことにチャレンジして自分のスキルも上げながら新たな日常に馴染み、変わりゆく社会において行かれることのない学びがご提供出来るよう今年度の職業奉仕／経営研究を計画します。

〈計 画〉

1. 職業奉仕

職業奉仕の理念と実践についての啓蒙活動を実践する。

①【四つのテスト】の唱和をする。

新入会員及び入会2年以下の会員が月に一度唱和リーダーをする。

②【ロータリアンの行動規範】を年に4回週報に記載する。

③会員企業または他企業を対象に職場訪問例会を開催する。

④会員企業または地域社会に貢献された優良従業員表彰を実施する。

2. 経営研究会

①会員に経営、事業承継、職業倫理など今求められている事項に関する経験談話など卓話や研修会を企画する。

②多様な分野のプロフェッショナルを招いて研修会や卓話を企画する。

③年間出来るだけ統一サブタイトルで談話、卓話、研修会を企画する。(必要に応じて例外も可)

〈予 算〉 400,000円

● 社会奉仕担当



リーダー
鹿瀬 賢二



副リーダー
上田 康博

【リーダー】 鹿瀬 賢二

【副リーダー】 上田 康博

【委 員】

日域 大陸 細田 正雄 衣笠 准一

狩野 義仁 石田 裕滋

〈方 針〉

佐野会長のスローガンに基づき、コロナ禍の制約ある中で、地域社会のニーズに即した支援と地域の環境改善等の社会奉仕をクラブ会員が遂行出来るように次のように計画し、取り組みます。

〈計 画〉

1. 国家公務員共済組合連合会吉島病院への寄贈事業（地区補助金事業）

事業名：放射線科病棟へ紫外線照射による消毒機器1台を寄贈する

概要：当病院は新型コロナウイルス感染症重点医療機関として陽性及び疑い例患者の受け入れ・外来診療を行い、また、広島県全域の結核患者も受け入れている。院内における感染対策としてアルコールによる清拭消毒を行っているが、清拭消毒だけでは不完全と言われており紫外線照射による消毒を加えた感染対策を施し、陽性・一般の全ての患者に対し、より安全な医療環境を整えることが必要とのニーズに応えるべくこの事業を行う。

事業資金：地区補助金額 290,000 円 クラブ拠出金 150,000 円

コロナ感染状況にあわせ、贈呈式（病院又は例会場）や卓話（ご担当者による運用状況・効果等についての報告）を行う。

2. 柏の実苑クリスマス会への参加

3. 社会福祉団体への支援

- ・ 広島いのちの電話
- ・ こども虐待ホットライン広島

4. 清掃活動の実施（パールハーバー記念植樹付近）

〈予 算〉 500,000 円

● 青少年奉仕担当



リーダー
渡邊 直樹



副リーダー
君島 龍輝

【リーダー】 渡邊 直樹

【副リーダー】 君島 龍輝

【委 員】

米川 晃 土肥 雪彦 岸本 秀樹

板本 敏行 田中 貴

〈方 針〉

今年度のRI会長テーマ「IMAGINE ROTARY」、当クラブ会長方針「共に語り、共に進もう」をもとに、インターアクトクラブをはじめとする青少年や子育て世代と、私たちがベストを尽くせる未来を描きながら、共に活動して参ります。

〈計 画〉

1. 広島商業高等学校インターアクトクラブの活動支援

- (1) 青少年育成活動として、高校の協力を得ながら生徒主体の社会奉仕活動の支援を行う。
- (2) 毎月のインターアクトクラブ例会に出席して有意義なクラブ活動への助言を行い、会員増強の策も話し合う。
- (3) インターアクトクラブ地区大会、研修会へ参加し、研鑽を重ねるとともに、他校との情報交換に努める。
- (4) ボランティア活動についての社会的意義と方法論について生徒達とともに考える。
- (5) 地区韓国研修への生徒達の参加を封じて国際性を身につける。

2. 他のインターアクトクラブとの活動支援の検討

3. RYLA への参加を通じた青少年教育に関する事業支援

4. 子育て世代と子どもとの共有活動を実施する。

〈予 算〉 600,000円

● 国際奉仕・姉妹クラブ担当



リーダー
菅 富誉樹



副リーダー
守下 康弘

【リーダー】 菅 富誉樹

【副リーダー】 守下 康弘

【委 員】

中村 伸弘 天野 國幹 大井 克元

久行 康夫 横川 真也 佐柳 和憲

〈方 針〉

これまで当クラブが永年続けてきた活動が、新型コロナ禍により2年にわたり制約されてまいりました。それを再開し、さらに意義のある活動にして行くべく事業を推進してまいります。

姉妹クラブである、パールハーバーロータリークラブへの相互訪問の再開、台中ロータリークラブへの表敬訪問に加え、この度特別有効クラブとなった仙台南ロータリークラブとの事業を深めてまいります。

諸状況にて中断となったザンビアへのグローバル補助金事業の後の国際奉仕事業についても、会員の協力をいただいて模索していきたいと考えております。

〈計 画〉

パールハーバーロータリークラブへの表敬訪問の実施、65周年のお祝いに行けていない台中ロータリークラブへの表敬訪問を計画します。仙台南ロータリークラブとの相互訪問についても検討、実施する予定です。

【過去10年間の交流履歴】

- 2012年4月 PHRC 来広
- 2013年2月 PHRC 表敬訪問
- 2014年3月 PHRC 来広
- 2014年9月 PHRC 表敬訪問
- 2015年5月 台中RC創立60周年表敬訪問
- 2016年4月 PHRC 来広
- 2016年9月 PHRC 表敬訪問
- 2018年4月 PHRC 来広
- 2019年2月 PHRC 表敬訪問
- 2020年1月 東南RC創立60周年PHRC・台中RC来広
- 2020年5月 台中RC創立65周年表敬訪問中止

〈予 算〉 2,200,000 円

財団関連活動委員会



委員長（理事） 中畝 将博

ロータリー財団、米山記念奨学会共に、計画した寄付の目標を達成するよう努力する。
ロータリー財団は地区補助金の活用と、次年度の地区補助金の申請を検討する。
米山記念奨学会は奨学生とカウンセラーをフォローする。



● ロータリー財団担当



リーダー
上原 亮



副リーダー
池田 勝彦

【リーダー】 上原 亮
【副リーダー】 池田 勝彦
【委 員】 荻田 玲子 旦 康次郎

〈方 針〉

ロータリー財団の役割、活動実績、仕組み等を多くの会員に理解していただき、年次基金、恒久基金の協力をお願いし、各種寄付目標達成を目指す。

地区補助金を活用した事業計画を実施する。

〈計 画〉

1. ロータリー財団への寄付推進

① ポリオ・プラスへの支援 35ドル／1名

達成のために100万ドルの食事を実施する。（年8回程度）

② 年次基金 150ドル／1名

ポールハリスフェロー、マルチプルポールハリスフェローへの寄付を勧誘し、年次基金の目標を達成する。（7名以上）

③ 恒久基金 ベネファクター 1名以上／クラブまたは1000ドル以上／クラブベネファクターの勧誘を行う。（1名以上）

④ ロータリーカードの普及に向けて呼びかけを行う。

⑤ 卓話等を通して財団についてクラブに情報提供する。

2. ロータリー財団地区補助金の活用

① 国家公務員共済組合連合会吉島病院放射線科病棟へ、コロナウイルス感染症患者在用した部屋への紫外線殺菌装置の寄贈プロジェクトを実施する。

② グローバル補助金の活用の調査・研究を奉仕プロジェクト委員会と協働し行う。

〈予 算〉 100,000円

● 米山記念奨学会担当



リーダー
佐々木 聡



副リーダー
岩田 久夫

【リーダー】	佐々木 聡
【副リーダー】	岩田 久夫
【委員】	岩井 正喬 河野 宏明
	岩垂 鈴香

〈方 針〉

今年度会長の方針として「共に語り、共に進もう」を基に、RC会員同士も含め日本に留学され学ぶ意欲のある学生の方と親睦を深め場面をつくり、相互の理解を深めていくことを目的として奨学金を支給する事業を推進していく。この事業を通して国際交流と相互理解を深め、世界平和に寄与することを目指す。

会員の皆様に、本事業活動に対する協力支援の促進と本奨学会の寄付をお願いする。

〈計 画〉

- ・ 米山記念奨学会事業についての理解を促進する。
- ・ 米山記念奨学会への寄付を依頼する。
- ・ 寄付目標：1人16,000円以上
- ・ 特別寄付金のお願いをする
- ・ 奨学生の受け入れ支援を行う。
- ・ 奨学生・学友との交流を図る。

〈予 算〉 10,000円

S. A. A.



S. A. A (理事) 行武 治子

今年度はコロナ予防対策を行いつつ、例年と同じような例会が開催できると思っております。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



● S.A.A. 支援担当



リーダー
佐々木一暢



副リーダー
若宮奈美江

【リーダー】 佐々木一暢
【副リーダー】 若宮奈美江
【委員】 品川 晃二 東影 正博
檜垣 純一

〈方 針〉

会長は方針として「共に語り、共に進もう」を掲げられました。この方針に沿いこれまで以上に会員同士の親交促進や合理的な例会運営ができるよう例会管理を行っていきます。コロナ禍により感染予防対策や、蔓延防止対策等による例会開催中止も想定されます。計画の追加・変更のある場合は臨機応変に対応して参りますので皆様のご協力をお願い致します。

〈計 画〉

方針を念頭に、本クラブの細則（クラブ細則第3条第7節）決められたS.A.Aの任務を行います。

- ・ 例会の進行に協力し、卓話の時間励行を確保する。
- ・ 例会場への入場や退場の許可、夏季のクールビスの推奨。
- ・ 早退・遅刻の承認や拒否
- ・ 私語や立ち歩きなど、例会場の秩序を乱す行為に対する警告と退場命令。
- ・ コロナ感染予防策を含めた例会場の設営、テーブル配置座席の指定など。
- ・ 食事の献立、業者の選定等食事の手配。
- ・ ニコニコ箱、ペコペコ箱の管理とその募集状況の報告及び功労者の表彰
- ・ 親交促進を図る為、配席やと会話を促進できるような工夫を行う
- ・ ニコニコ箱の年間予算（目標額）は理事会審議待ち。

〈予 算〉 10,000円

会 計



会計（理事） 河野 洋平

〈方 針〉

会長方針に従い、各部門の委員会活動が健全運営されるよう予算編成を行う。

〈計 画〉

- ・ クラブの資金管理を正確に実行する。
- ・ クラブの収支及び財政状況を明確にするため、年1回、中間決算や見込み決算の報告書を作成する。
- ・ 年度内の予定外活動が発生した場合、弾力的支出を配慮する。